



一般社団法人
日本スポーツツーリズム推進機構

目次



1. 事業一覧(抜粋)	2
2. SportAccord Convention 2021	11
3. 第9回スポーツ振興賞	12
4. SPORTEC 2021	21
5. 第10回スポーツツーリズム・コンベンション in 名古屋	22
6. JSTA ウェビナー	29
7. スポーツコミッション人材養成アカデミー モデル講座	32
8. スポーツ庁「地域スポーツコミッションの設立促進及び経営の多角化に向けた コンサルティング事業」	34
9. スポーツ庁「武道ツーリズムネットワーク構築・強化事業(スポーツによる地域の 価値向上プロジェクト)」	36
10. ヘルスツーリズム認証	39
11. 千代田ツーリズムイノベーションベース(CTIB)	41
12. YouTube チャンネル(動画配信の活用)	42
13. 2021年度 JSTA会員一覧(法人・公益法人・自治体・スポーツ団体)	43

1 | 事業一覧（抜粋）



月	日	活動	場所
4	7	千代田区観光協会訪問 CTIB 入居打合せ	千代田区観光協会
	9	【講演】ハワイ州観光局「east meets west」(原田会長)	オンライン
	10	虎ノ門・共同通信会館から千代田区万世橋出張所・区民館へ移転作業	
	12	千代田区万世橋出張所・区民館 CTIB 新事務局業務開始	
	16	第 34 回 JSTA 理事会・CTIB 内覧会	CTIB(万世橋)
	21	市原市スポーツ振興課 打合せ(中山事務局長)	
	23	山梨県版スポーツコミッション設立準備委員会事業説明(事務局)	オンライン
5		名古屋市スポーツ戦略室 打合せ(原田会長・事務局)	CTIB(万世橋)
	10	【スポーツ庁事業】技術審査委員会 オブザーバー	スポーツ庁
	17	山梨県版スポーツコミッション設立準備委員会打合せ(中山事務局長・滝田)	オンライン
	18	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツタウンキックオフミーティング(中山事務局長・滝田)	オンライン
	21	【講演】(一財)地域活性化センター「スポーツを核とした持続的なまちづくり」(原田会長)	日本橋 地域活性化センター／オンライン
	24	【会議】スポーツ庁 スポーツ審議会(原田会長)	オンライン
	27	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】スポーツコミッション大館打合せ	オンライン
6	28	【会議】スポーツ庁 「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」第1回プロジェクト会議(原田会長)	オンライン
	1	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】長和町スポーツコミッション委員会(中山事務局長)	長野県長和町
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会(藤原・滝田)	オンライン
	2	山梨県オリンピック・パラリンピック推進課 打合せ(中山事務局長)	山梨県甲府市
	4	【取材】「月間秘伝」インタビュー(原田会長)	CTIB(万世橋)
	7	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】裾野市スポーツツーリズム推進協議会 打合せ(藤原・滝田)	オンライン

6	7	【会議】自民党スポーツ立国調査会 意見交換(原田会長)	自由民主党本部
	8	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツタウン 訪問・打合せ(中山事務局長)	千葉県銚子市
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】沖縄市観光物産振興協会 打合せ(藤原・滝田)	オンライン
		【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】村上市 打合せ(滝田)	
	9	千代田区観光協会 打合せ	CTIB(万世橋)
	11	第 35 回理事会	CTIB(万世橋)／
		2021 年度定時社員総会	オンライン
	14	矢板スポーツコミッション スポーツ庁打合せ(中山事務局長・滝田)	オンライン
		【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】大阪府 打合せ(藤原)	大阪府庁
	15	【会議】やまなしスポーツエンジン設立準備委員会(中山事務局長)	オンライン
		International Association of Event Hosts (IAEH)総会 (中山事務局長)	
	16	(一社)むらまち結び 打合せ	CTIB(万世橋)
	18-19	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツコミュニティ コンテンツプログラム視察(中山事務局長)	千葉県銚子市
	19	【講演】SPORTEC 名古屋 基調講演(原田会長)	愛知県名古屋市
7	22	日本ゴルフツーリズム推進協会 定時社員総会(中山事務局長)	オンライン
	24	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】大館市来訪・スポーツ庁 同行(中山事務局長・滝田)	CTIB(万世橋)・スポ ーツ庁
	29	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】水俣市 視察・打合せ(滝田)	熊本県水俣市
	30-1	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】大館市 運営推進委員会 (中山事務局長)	秋田県大館市
	1	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】壮瞥町 田辺町長面談／ 委員会(中山事務局長)	北海道壮瞥町
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】裾野市スポーツツーリズム 推進協議会 視察・打合せ(藤原・滝田)	静岡県裾野市
	2	【会議】スポーツ庁「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」 小委員会(原田会長)	オンライン
		さっぽろグローバルスポーツコミッション 訪問打合せ (中山事務局長)	北海道札幌市
	5	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】村上市 視察・打合せ(滝田)	新潟県村上市
	6	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】大阪府・大阪体育大学 打合せ(原田会長・藤原)	大阪体育大学

7	8	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】韮崎市 視察・打合せ(藤原)	山梨県韮崎市
		山梨県 やまなしスポーツエンジン打合せ(中山事務局長)	オンライン
	9	名古屋市スポーツ戦略室 来訪(原田会長・事務局)	CTIB(万世橋)
	10-11	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツコミュニティ コンテンツプログラム視察(中山事務局長)	千葉県銚子市
	13	【会議】山梨県 やまなしスポーツエンジン設立準備委員会 (中山事務局長)	山梨県甲府市
	14	千代田区長秋葉原地域 e-sports 施設視察同行(大塚理事・事務局)・千代田区観光協会打合せ(事務局)	秋葉原駅周辺エリア・CTIB(万世橋)
		JSTA 自主事業調査報告・2021 年度事業計画 動画公開	オンライン(Youtube)
	15	(公財)スポーツ健康産業団体連合会 打合せ	CTIB(万世橋)
	16	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化 プロジェクト推進委員会プレ合同 MTG(藤原・滝田)	オンライン
	19	(一社)ルーツスポーツジャパン サイクリングイベント情報交換・ 打合せ	CTIB(万世橋)
		【会議】沖縄県振興審議会(原田会長)	沖縄県那覇市
	21	埼玉県観光物産協会(彩の国 DMO) 打合せ	オンライン
	23	東京 2020 オリンピック競技大会開会式	
	26	名古屋市スポーツ戦略室 訪問(事務局)	CTIB(万世橋)
8	28	【講演】台湾体育署 Fun Sports in Taiwan 特別講演 「スポーツツーリズムによる地域活性化」(原田会長)	オンライン
		【講演】埼玉県観光物産協会 「彩の国 DMO 協議会 ワーキング グループ」(中山事務局長)	埼玉県さいたま市
	29	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】韮崎市 SC 設立検討委員会 出席(藤原)	山梨県韮崎市
	3	日本ホッケー協会 打合せ・視察(中山事務局長)	大井ホッケー競技場
	8	東京 2020 オリンピック競技大会閉会式	
	10-12	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】壮瞥町 アウトドアイベント 視察(中山事務局長)	北海道壮瞥町
	16	山梨県 やまなしスポーツエンジン打合せ(中山事務局長)	オンライン
	17	名古屋国際センター シンポジウム会場下見(事務局)	愛知県名古屋市
	18	千代田区観光協会 社員総会(中山事務局長・井塚)	帝国ホテル
	20	山梨県 やまなしスポーツエンジン打合せ(中山事務局長)	オンライン
		【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】村上市 打合せ(中山事務局 長・滝田)	オンライン

8	24	【会議】山梨県 やまなしスポーツエンジン設立準備委員会 (中山事務局長)	オンライン
		東京 2020 パラリンピック競技大会開会式	
	25	名古屋市 コンベンション打合せ	CTIB(万世橋)
	30	千代田区観光協会 打合せ(事務局)	CTIB(万世橋)
9	5	東京 2020 パラリンピック競技大会閉会式	
	6	【会議】ヘルスツーリズム認証委員会(中山事務局長)	オンライン
	7	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】名古屋市 名古屋スポーツ コミッション設立総会(原田会長・滝田)	名古屋市公館
	9	【スポーツ庁事業:地域スポーツコミッション調査】 調査開始 (締切:10月29日)	
	10	第44回常任理事会	CTIB(万世橋)／オ ンライン
	13	日本ゴルフツーリズム推進協会 理事会(中山事務局長)	オンライン
	14	千代田つなぐ協会 打合せ(事務局)	CTIB(万世橋)
	15	山梨県 やまなしスポーツエンジン打合せ(中山事務局長)	オンライン
		【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】水俣市 打合せ(中山事務局 長・滝田)	オンライン
	16	【会議】札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会(経済、スポーツ・文化 分野)(原田会長)	オンライン
		名古屋市 コンベンション打合せ	オンライン
	22	【取材】毎日新聞 スポーツツーリズムヒアリング(中山事務局長)	CTIB(万世橋)
		【会議】スポーツ文化ツーリズムアワード 2021 二次審査会 (中山事務局長)	全日通霞が関ビル ディング
	24	JSTA セミナー委員会	オンライン
		【会議】スポーツ庁「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」 第2回プロジェクト会議(原田会長)	オンライン
	27	秋田県大仙市 打合せ(中山事務局長)	オンライン
	28	第1回 JSTA ウェビナー	オンライン
	29	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化 プロジェクト推進委員会 第1回合同 MTG(藤原・滝田)	オンライン
	30	山梨県 やまなしスポーツエンジン打合せ(中山事務局長)	オンライン
	30-1	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】韮崎市 SC 設立検討委員会 出席(藤原)	山梨県韮崎市

10	4	名古屋市 コンベンション打合せ	オンライン
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会 打合せ(藤原・滝田)	オンライン
	5	【会議】山梨県 やまなしスポーツエンジン設立準備委員会中山事務局長)	山梨県甲府市
	7	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】大阪府 訪問・打合せ(藤原)	大阪府庁
	8-9	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】秋田県大館市 委員会・フィールド視察(中山事務局長・滝田)	秋田県大館市
	10-11	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】水俣市 キックオフシンポジウム・勉強会(中山事務局長・滝田)	熊本県水俣市
	12	全国ご当地マラソン協議会 来訪・打合せ(中山事務局長)	CTIB(万世橋)
	15-16	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】沖縄市観光物産振興協会 打合せ・視察(藤原・滝田)	沖縄県沖縄市
	18	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】大阪府 打合せ(藤原)	オンライン
	18-19	【講演】観光庁・山口大学 山口県のスポーツ観光講座 2021(中山事務局長)	山口県長門市
	19	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会 体験会参加(藤原・滝田)	長野県軽井沢町
	22	【会議】スポーツ庁「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」小会議(原田会長)	オンライン
		【講演】スポーツ健康産業団体連合会 第27回シンポジウム(コーディネーター:中山事務局長)	TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター
	25	【会議】スポーツ振興賞選考委員会(原田会長)	芝 BDK 会議室
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】長和町 委員会(中山事務局長)	長野県長和町
	26	【講義】帝京大学経済学部観光経営学科 (中山事務局長)	帝京大学八王子キャンパス
	27	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】裾野市スポーツツーリズム推進協議会 打合せ・視察(藤原・滝田)	静岡県裾野市
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子市 中間報告会議(中山事務局長)	千葉県銚子市
	28	第2回 JSTA ウェビナー	オンライン
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会 第2回合同 MTG(藤原・滝田)	長野県軽井沢町
	29	【取材】日経 BP 社 D-Com 取材・撮影(原田会長)	CTIB(万世橋)

11	2	【スポーツ庁事業:地域 SC 支援】地域スポーツコミッション シンポジウム 名古屋会場下見(滝田・井塚)	名古屋市国際センタ ー
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツコミュニティ コンテンツプログラム視察(中山事務局長)	千葉県銚子市
	5	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】大阪府 打合せ(藤原)	大阪府庁
	10	矢板市来訪 (滝田)	CTIB(万世橋)
		【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】土佐町スポーツコミッション 訪問(藤原・滝田)	CTIB(万世橋)
		千代田区観光協会 打合せ(井塚)	九段下 千代田区観 光協会
	11	大分県(芸術文化スポーツ振興課)来訪 (藤原・井塚)	CTIB(万世橋)
		山梨県 やまなしスポーツエンジン事前打合せ(中山事務局長)	オンライン
	12	第 45 回常任理事会	CTIB(万世橋)／オ ンライン
	16	【会議】山梨県 やまなしスポーツエンジン設立準備委員会 (中山事務局長)	山梨県甲府市
		【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】村上市 設立準備委員会 (滝田)	新潟県村上市
		【会議】沖縄県振興審議会(原田会長)	沖縄県那覇市
	17	名古屋市スポーツ戦略室 来訪(事務局)	CTIB(万世橋)
	18	スポーツ振興賞 各賞対応のためスポーツ庁・観光庁訪問	スポーツ庁・観光庁
	19	第 36 回理事会	CTIB(万世橋)／オ ンライン
	25	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化 プロジェクト推進委員会 第 3 回合同 MTG(滝田)	長野県軽井沢町
	26	【会議】スポーツ庁「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」 第3回プロジェクト会議(原田会長)	オンライン
		東京都ヒアリング 来訪(原田会長)	CTIB(万世橋)
	28	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】裾野市スポーツツーリズム 推進協議会 イベント視察・打合せ(藤原)	静岡県裾野市
	30	【講演】スポーツ文化ツーリズムアワードシンポジウム 基調講演・ コーディネーター(原田会長)	オンライン
12	1	【講演】SPORTEC 基調講演(原田会長)	東京ビッグサイト南 展示場
		第 9 回スポーツ振興賞表彰式(原田会長・中山事務局長)	東京ビッグサイト南 展示場

12	1-2	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】韮崎市 SC 設立検討委員会(藤原)	山梨県韮崎市
	2	SPORTEC 地域スポーツコミッションセミナー(事務局)	東京ビッグサイト南 展示場
		筑波大学 久野先生ウェビナー打合せ(事務局)	筑波大学(茗荷谷)
	6	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会 体験会参加(井塚・瀧山)	長野県軽井沢町
		【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】矢板市ヒアリング(中山事務局長・滝田)	オンライン
	7	【講義】中村学園大学流通科学部 ビジネスホスピタリティ(中山事務局長)	福岡市 中村学園大 学
		第 4 回 JSTA ウェビナー	オンライン
	8	【講義】川口短期大学 観光政策論(中山事務局長)	オンライン
		【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】大阪府 打合せ(藤原)	大阪府庁
	9	一般社団法人アジア・アフリカ 20 特別総会参加(中山事務局長)	ザ・プリンスパーク タワー東京
	9-10	【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】 出雲スポーツ振興 21 ヒアリング調査(藤原・滝田)	島根県出雲市
	13	【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】東御市役所 ヒアリング調査(中山事務局長・滝田)	長野県東御市
	14-15	【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】宇部市スポーツ コミッション 事業視察・ヒアリング調査(藤原・井塚)	山口県宇部市
	14	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】大館市・壮瞥町来訪 (中山事務局長)	CTIB(万世橋)
	16	山梨県 やまなしスポーツエンジン事前打合せ(中山事務局長)	オンライン
	16-17	【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】ツノスポーツ コミッション～鹿屋市役所 ヒアリング調査(藤原・滝田)	宮崎県都農町・ 鹿児島県鹿屋市
	19	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツコミュニティ コンテンツプログラム視察(中山事務局長)	千葉県銚子市
	20	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】村上市 設立準備委員会 (滝田)	新潟県村上市
	21-22	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】高知県庁・土佐町 視察・ ヒアリング(藤原・滝田)	高知県庁・高知県土 佐町
	24-25	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】スポーツコミッションみなまた 設立総会(中山事務局長・滝田)	熊本県水俣市

1	16	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】大阪府 地域スポーツ コミッション設立総会(中山事務局長・藤原)	グランフロント大阪
	17	【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】大阪市 ヒアリング (中山事務局長・藤原)	大阪府大阪市
	18	地域スポーツコミッション人材養成アカデミー モデル講座①	オンライン
	20	【講演】新潟県 「令和 3 年度スポーツツーリズム推進セミナー」 (中山事務局長)	オンライン
	24	地域スポーツコミッション人材養成アカデミー モデル講座②	オンライン
	26	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】長和町視察同行 (中山事務局長)	福島県新地町
		【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】佐賀県 ヒアリング (藤原・滝田)	オンライン
	27	【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】南関町 ヒアリング (藤原・滝田)	オンライン
	31	地域スポーツコミッション人材養成アカデミー モデル講座③	オンライン
		日本ゴルフツーリズム推進協会 理事会(中山事務局長)	オンライン
2	2	山梨県 やまなしスポーツエンジン 金沢 SC 視察(中山事務局長)	オンライン
	3	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】韮崎市 SC 設立検討委員会 出席(藤原)	山梨県韮崎市
	9	【スポーツ庁事業:地域 SC フレームワーク研究】さっぽろグローバル コミッション ヒアリング(中山事務局長・藤原)	オンライン
	14	地域スポーツコミッションシンポジウム in 名古屋	オンライン(名古屋市 国際センター)
	15	第 10 回スポーツツーリズム・コンベンション in 名古屋	オンライン(名古屋市 国際センター)
	16-17	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】スポーツコミッション大館 視察同行(中山事務局長)	群馬県みなかみ町
	17	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】韮崎市 SC 設立検討委員会 出席(藤原)	山梨県韮崎市
	21	山口大学観光セミナー(中山事務局長)	一橋大学 千代田キャンパス
	22	日本オリエンテーリング協会来訪(中山事務局長)	CTIB(万世橋)
	25	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】長和町 委員会 (中山事務局長)	長野県長和町
		【会議】スポーツ庁 「スポーツによる地域の価値向上プロジェクト」 第4回プロジェクト会議(原田会長)	オンライン

2	28	【スポーツ庁事業:武道ツーリズム NW 構築強化事業】 武道ツーリズム認知向上のための検討会議(原田会長・事務局)	オンライン (CTIB(万世橋))
3	1	【会議】日本工学院スポーツビジネスコース 2021 年度後期 職業実践教育編成委員会(中山事務局長)	オンライン
	4	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツタウン 打ち 合わせ(中山事務局長)	オンライン
	7	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】壮瞥町 打ち合わせ(中山 事務局長)	オンライン
	9	【スポーツ庁事業:武道ツーリズム NW 構築強化事業】 武道ツーリズムオンラインミーティング(原田会長・事務局)	オンライン (CTIB(万世橋))
	11	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】銚子スポーツタウン 最終報告会議(中山事務局長)	千葉県銚子市
	12	【講演】静岡県牧之原市(原田会長)	静岡県牧之原市
	16	第 46 回常任理事会	オンライン
	16-17	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】沖縄観光物産協会 視察・打合せ(藤原・滝田)	沖縄県沖縄市
	18	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】村上市 設立準備委員会 (滝田)	オンライン
	19	【スポーツ庁事業:地域 SC 設立支援】韮崎市 設立総会・講演 (原田会長・藤原)	山梨県韮崎市
	23	【会議】日本ゴルフツーリズム推進協会 委員会(中山事務局長)	オンライン
		台湾体育署 Fun Sport in Taiwan 調印式	オンライン
	24	【会議】自民党政務調査会 スポーツ立国調査会 「スポーツホスピタリティ PT」(井塚)	永田町自民党本部
	27-29	【スポーツ庁事業:地域 SC 多角化支援】壮瞥町 視察同行 (中山事務局長)	北海道旭川市・ 東川町
	30	【会議】神奈川県スポーツ課 スポーツツーリズム有識者会議 (中山事務局長)	オンライン
		札幌市スポーツ局 訪問(中山事務局長)	北海道札幌市
	31	【会議】ヘルスツーリズム振興機構 認証委員会(中山事務局長)	オンライン
		第 37 回 JSTA 理事会	CTIB(万世橋)／ オンライン

2 | SportAccord Convention2021



○日 時: 2021年11月7日～12日

○場 所: エカテリンブルク(ロシア) ※中止



○経 緯:

2021年4月7日

SAC2021(エカテリンブルグ) 開催期間変更 ⇒ 11月7日～12日

2021年8月6日

開催期間変更 ⇒ 2022年5月15日～20日

SportAccord World Sport & Business Summit 2022 となる

2022年2月25日

ロシアによるウクライナ侵攻のため中止

3 | 第9回スポーツ振興賞



- 応募期間：2021年6月1日～9月30日（当日消印有効）
- 表彰式：12月1日「SPORTEC 2021」会場内において開催
- 応募件数：35件
- 受賞作品：

☆スポーツ振興大賞☆	
作品名 応募者	とびしま海道7つの島、100kmを走る旅 とびしまウルトラマラニック in せとうち・呉 とびしまウルトラマラニック実行委員会（広島県呉市）
作品の概要 kmのコースを走るランニングイベント。実行委員長である高島俊思は、地域おこし協力隊として当地域に家族と共に移住した。この地域を元気にする活動を行う中で少子高齢化は深刻な課題だった。この難題に向き合う中で、スポーツイベントを開催し、全国から人を呼び込むことで、いわゆる関係人口を創出し、いずれ「移住・定住」へと繋げることが課題解決への道となると考え開催した。 「マラニック」は「マラソン」＋「ピクニック」の造語で競争ではなく地域と交流を持ちつつ、食べて楽しむという要素を盛り込んでいる。特徴のある島と橋を全部回るコースで、絶景、柑橘などの特産品、郷土料理、満天の星空、そして補給所での島民のおもてなしで、宿泊を伴う新たな観光コンテンツになる大会を目指した。2019年大会では北海道から沖縄まで479名の参加者を集め開催し、テレビ、新聞等で特集が組まれるなど、地域振興を目的としたイベントとして広く認知されるようになった。また地域には宿泊施設が不足していることから、イベント民泊の制度を活用し、地域の民家にも宿泊してもらい交流を深める取組も行った。	



【スポーツ振興大賞】
とびしまウルトラマラニック
実行委員会



【スポーツツーリズム推進機構会長賞】
スポーツ・ローカル・アクト株式会社

☆スポーツ振興賞（6作品）		
ス ポ ー ツ 庁 長 官 賞	作品名	限界集落の小さな挑戦「田んぼでSUP」
	応募者	丸山自治会（丸山生活改善センター運営委員会）（大分県竹田市）
観 光 庁 長 官 賞	作品の概要 九州中央の山間地に位置する竹田市久住町「丸山自治会」の人口は37人。高齢化率は52%を超えた、小さな集落です。昨年度、第8回スポーツ振興賞に限界集落の小さな挑戦「スポーツ合宿 誘致による地域づくり」のテーマで応募をしました。 平成28年度に老朽化した自治会公民館を改修し、スポーツ合宿の拠点施設として令和元年度には延べ700名近い選手を受け入れたものの、令和2年度はコロナ感染症の影響を受け、宿泊受入数は0となり地域活性化の目玉となっていたスポーツ合宿は影を潜めてしまいました。 新たな地域活動を模索する中、丸山自治会の主要産業は農業（水稻）であり、田んぼを使ったスポーツ活動ができないかを考えたところ、周辺地域はプール以外に水遊びができる場所がないことから、SUP体験ができないかとの話になり、B&G財団様から快くSUPの貸出承諾を得て、体験活動実施の運びとなりました。作付け前の田んぼ、3,000㎡に15cm程の水を張り、SUP2艇を浮かべ、4月18日に試験体験、4月25日～5月日までの土日、祝日に実施したところ、全国的にも珍しい田んぼでのSUPを多くの方に体験していただきました。小さなことですが限界集落が様々なアイディアを出し、地域づくりに取り組む姿を全国に発信できればと考えております。	
	作品名	子どもから大人まで楽しめるご当地スポーツとしてのトレイルランニング
	応募者	～環境教育との融合を通じた持続可能なアウトドアスポーツ普及への取り組み～ FUJIO PROJECT（神奈川県逗子市）
	作品の概要 近年、地域振興を目的としたアウトドアスポーツ大会が全国的に盛んである。ただし、アウトドアスポーツの普及とともに、競技者のマナーや自然環境への影響等の批判も大きくなっている。この問題に対処するためには、特に子供達に対する教育が必要であると感じており、逗子市を拠点にトレイルランニングと環境教育とを融合させた様々な取り組みを実施している。まず、休日など学校以外での時間を有効に過ごすため、子ども達を対象にマナー普及啓発等の教育を行う「逗子ジュニアトレラン部」を実施している。また、遊ぶ場所は自分達で保全するという心を育むため、「ZUSHI TRAIL WORKS」を通じて、トレイルの保全活動を地域有志と共に行っている。 トレイルランニングの魅力は親子で気軽に楽しめることだ。そのため、親子で一緒に学びながら楽しんでもらうことを意識している。「ジュニアトレイルラン」では、子供のレースとともに、子供の保護者の部を設け、トレイルランニングを親子の共通のキーワードに心がけている。 トレイルランニングが持続可能なスポーツになるためには、マナー啓発と環境教育活動がその地域に住んでいる家族に根付いていることが重要である。幸いにも多くの活動が5年を超え、のべ3000を超える人たちの参加があり、メディアでも取り上げられ地域でも随分と浸透した。「海のまち」として知られる逗子であるが「海と山のまち」として認知される日もそう遠くないはずだ。	

経済産業省 商務・サービス審議官賞	作品名 応募者	鳥取県の商工会が取り組んできた地域ブランディング事業が自転車を活用したまちづくりを目指す官民連携協議会設立に貢献した４年間 鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」（鳥取県西伯郡日吉津村）
	作品の概要	当会は、管内地域において加速化する人口減少・少子高齢化による、域内事業者の経営環境の悪化、経済の衰退、消費力低下・労働力の減少等に対応するため、地域をブランド化し、資源等地域の魅力を域外に発信し、「サイクルツーリズム」による誘客促進事業を行っています。 具体的には、将来的なターゲットとする欧米豪の富裕層に、サイクリングで当地の魅力を満喫していただける環境を作るため、魅力的なサイクルツアーの造成、プロツアーガイドの養成、受け皿となる地域事業者の商品・サービスの開発及びブラッシュアップ等の事業を行っています。これまで実施した養成講座によりガイド候補者が２０名以上生まれ、今年度はいよいよツアーの商品化に取り組んでいます。 また、鳥取県全体での「サイクルツーリズム」による誘客の確立を目指し、説明会やシンポジウム等の自主開催を通じ、商工会だけでなく、国交省や県市町村や議会、サイクル関係団体等にも働きかけ、コロナ禍における自転車利用による観光客誘客とまちづくり（自転車利用環境整備）への理念共有、持続的発展等を提言した結果、「鳥取県サイクルツーリズム推進・連携協議会」や「鳥取県西部サイクリングルート整備検討会」の設立を実現しました。今後は、サイクリストの聖地の証でもあるナショナルサイクルルート指定に向け、域内外で連携し、受け皿づくりを進め、地域事業者の持続的発展と地域経済の活性化に寄与します。
日本商工会議所 奨励賞	作品名 応募者	ラグビーワールドカップで生まれた市民活動で「スポーツでまちづくり」をレガシーに 熊谷ラグビー合唱団（埼玉県熊谷市）
	作品の概要	２０１９年に熊谷ラグビー合唱団を立ち上げました。地元開催のラグビーワールドカップ（以下RWC）を市民発信で盛り上げる取り組み「国歌を歌っておもてなし」を推し進める市民団体です。 RWC参加国の国家を練習し、観戦時に選手と共に歌うアイデアを市民に広め、参加を呼びかけました。この活動に対し、大会開催前から参加国への良きおもてなしとして市内外で受け止められ、メディアにも多数取り上げて頂きました。大会後には優勝国南アフリカの駐日大使から直接感謝の言葉も頂きました。 特筆すべきは合唱団の参加者コミュニティがRWC以降も交流を継続し、新たに「ラグビータウン熊谷」を推進する活動を生んでいることです。駅にラグビー情報掲示板を設置、ラグビー観戦客をもてなす「おもてなしハイタッチャーズ」設立、ラグビー場でのコロナ禍の中高生応援企画などです。 熊谷ラグビー合唱団は、「スポーツでまちづくり」をRWCで生まれたレガシーとして継続し、熊谷をより住んでいてよかったと思えるまちにしていきます。

スポーツ・ツーリズム推進機構 会長賞	作品名 応募者	スポーツ×ふるさと納税「ふるスポ！」で、チームのファンが地域のファンに。 スポーツをきっかけとしたシティプロモーションや地域振興に貢献 スポーツ・ローカル・アクト株式会社（東京都中央区）
	作品の概要	スポーツのまちづくりをふるさと納税で応援できる、スポーツふるさと納税「ふるスポ！」WEBサイトを2018年8月からスタートさせました。ふるスポ！を通して集まったふるさと納税が、地域のスポーツ振興などに活用され、プロスポーツチームや大会のファンが「地域のファン」になることを事業の目的に活動をしています。ふるさと納税を通してプロスポーツの活動の応援や、ファンとクラブの接点を地域が創出することができ、プロスポーツチームとの相乗効果でシティプロモーションに寄与できたり、スポーツが地域にある価値を感じてもらえる取り組みになっています。 <事例1>群馬県前橋市×ふるスポ！：「日本初」ふるさと納税の返礼品を応援するチームとシェアする取り組みで、地域プロスポーツクラブとファンのつながりを地域が創出し、シティプロモーション・地域のファンづくりに貢献した。 <事例2>新潟県長岡市×ふるスポ！：スポーツふるさと納税「ふるスポ！」への寄附（ふるさと納税）を活用し、長岡市内小学校に地元スポーツクラブ新潟アルビレックスBBのオリジナルビブスを贈呈した。地域にプロスポーツのある価値を提供しスポーツのまちづくりに貢献した。
スポーツ健康産業団体連合会 会長賞	作品名 応募者	特別支援学校在校生及び卒業生を対象としたスポーツ活動 「皆生（かいけ）スポーツ広場」の取り組み 医療法人養和会（鳥取県米子市）
	作品の概要	平成28年度からスタートした「皆生スポーツ広場」は、鳥取県立皆生養護学校（肢体不自由・病弱特別支援学校）の体育館で、毎月1回2時間、土曜日の午前中に活動しています。鳥取県立皆生養護学校の在校生や卒業生を主な対象とし、参加費は無料です。安心・安全に活動できるよう、施設設備が整い、慣れ親しんだ体育館を使用しています。スポーツ活動の内容は、理学療法士によるストレッチ指導や感覚統合を取り入れたレクリエーションスポーツ、ボッチャ等の障がい者スポーツを中心としたメニューとなっています。メニューによっては歩行可能な方も車いすに乗ってもらするなど、皆が同じ目線でスポーツ活動を楽しめる工夫をしています。 特別行事として、全国障害者スポーツ大会陸上競技の練習会や大会参加、ボッチャを通じた日本代表選手との交流、特別支援学校の放課後ボッチャの練習等があります。過去5年間の参加者は延べ950名（障がい者317名、一般330名、スタッフ303名）。皆生スポーツ広場をきっかけに、鳥取県ボッチャ協会が設立され、県外大会参加のほか、公民館や小学校の人権学習に招かれるなど地域で活躍中です。また毎年、10名程度が鳥取県障害者スポーツ大会に参加し、中には全国障害者スポーツ大会に出場する選手もあり、活動の場が広がっております。

スポーツ振興賞 募集要項

第9回

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構では、「第9回スポーツ振興賞」の募集を行っています。スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に貢献されている団体、グループ、企業の方々の積極的なご応募をお待ちしています。表彰はスポーツ振興大賞 他6点です。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、過去の実績によるご応募でも差し支えありません。奮ってご応募ください。
応募締切／令和3年8月20日（金）（当日消印有効）

■応募方法

応募にあたっては、下記の選考基準を勘案して以下の書類を作成し、（公社）スポーツ健康産業団体連合会宛、お送り下さい。書類はプリントアウトしたものと電子データを併せてお送り下さい。

①エントリーシート

②本文（様式は特に定めませんが、下記内容を簡潔にお書き下さい。）

スポーツを通じた健康づくり及びスポーツを起爆剤としたツーリズムや産業振興・地域振興（まちづくり）の貢献、活動の経緯、活動組織の内容、特筆すべき点、今後の展開などの活動内容

③要約（②の本文を500字程度でまとめたもの）

④写真（写真は10枚程度以内、必ず説明文を書き添えてください。写真データがあればご送付ください。）

なお、動画素材の提出はご遠慮ください。ホームページをお持ちの場合、URLを載せていただいても結構です。）

※応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承下さい。

■選考方法

応募のあったものの中から、（公社）スポーツ健康産業団体連合会と（一社）日本スポーツツーリズム推進機構が共同で設置するスポーツ振興賞選考委員会において選考の上、決定します。

■選考基準

- 【健康づくり・まちづくり】 スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをしているか。スポーツや障がい者スポーツを起爆剤としてツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に貢献しているか。
- 【市民参加】 市民が積極的に参加できる仕組みがつけられているか。
- 【事業の健全性】 事業の内容及び活動が健全であるか。
- 【交流・連携】 国内外を問わず交流や連携が行われているか。
- 【継続・発展】 新しい生活様式に配慮する等、活動が継続的に行われ、将来の発展性が見られるか。
- 【評価】 参加者、市民、自治体に評価されているか。
- 【望ましい事項】 独創性に富んでいる。イメージ向上に貢献している。新聞、テレビ、ラジオ等で取り扱われている等。

■表彰内容

★スポーツ振興大賞1点 …… 賞状、トロフィー、副賞20万円

★スポーツ振興賞各1点 …… 賞状、トロフィー

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ・スポーツ庁長官賞（予定） | ・観光庁長官賞（予定） |
| ・経済産業省商務・サービス審議官賞（予定） | ・日本商工会議所奨励賞 |
| ・日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞 | ・スポーツ健康産業団体連合会 会長賞 |

■審査結果発表、表彰式、受賞者による事業発表

- ・審査結果の発表は令和3年10月下旬を予定。スポーツ健康産業団体連合会、日本スポーツツーリズム推進機構のホームページにおいて受賞者の活動内容を広く周知するとともに、報道機関にもプレスリリースすることにしてあります。
- ・表彰式は、令和3年12月1日（水）開催の「SPORTEC2021展示会（東京ビッグサイト／スポーツ健康産業団体連合会特別協力）」の席上を予定しています。（その時の状況により変更になる場合もございます。）
- ・表彰式後、受賞者による受賞事業の活動発表を予定しています。

【書類送付先・お問合せ】

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 事務局（担当：板垣）

住 所：〒106-0032 東京都港区六本木6-2-33 六本木ヒルズノースタワーアネックス3F

TEL：03-6434-9510 FAX：03-6434-9511

E-mail：jshif@spo-danren.jp

URL：<https://www.jsif.or.jp/>

令和3年11月5日

第9回スポーツ振興賞の発表
～東京ビッグサイトで授賞式を開催～

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会（東京都港区）と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構〔JSTA〕（東京都千代田区）は、スポーツ振興賞選考委員会の審査を踏まえ、スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に大きく貢献した団体、企業等を顕彰するとして第9回スポーツ振興賞の各賞の授賞作品を発表します。

応募総数35件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」を、優れた作品に「スポーツ振興賞」として、スポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務・サービス審議官賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、スポーツ健康産業団体連合会会長賞の6点を選定しました。授賞式は、来る12月1日（水）に東京ビッグサイト（東京都江東区）の会場で行います。

1. 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構は、スポーツ振興賞選考委員会で慎重、厳正に審査された結果を踏まえ、以下の作品を授賞作品として決定した。

★スポーツ振興大賞

作品名：とびしま海道7つの島、100kmを走る旅

応募者：とびしまウルトラマラニック in せとうち・呉

とびしまウルトラマラニック実行委員会（広島県呉市）

★スポーツ振興賞

○スポーツ庁長官賞

作品名：限界集落の小さな挑戦「田んぼで SUP」

応募者：丸山自治会 丸山生活改善センター運営委員会（大分県竹田市）

○観光庁長官賞

作品名：子どもから大人まで楽しめるご当地スポーツとしてのトレイルランニング

～環境教育との融合を通じた持続可能なアウトドアスポーツ普及への取り組み～

応募者：FUJIO PROJECT（神奈川県逗子市）

○経済産業省 商務・サービス審議官賞

作品名：鳥取県の商工会が取り組んできた地域ブランディング事業が自転車を活用したまちづくりを目指す官民連携協議会設立に貢献した4年間

応募者：鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」（鳥取県西伯郡日吉津村）

○日本商工会議所 奨励賞

作品名：ラグビーワールドカップで生まれた市民活動で「スポーツでまちづくり」をレガシーに

応募者：熊谷ラグビー合唱団（埼玉県熊谷市）

○一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

作品名：スポーツ×ふるさと納税「ふるスポ！」で、チームのファンが地域のファンに。

スポーツをきっかけとしたシティプロモーションや地域振興に貢献

応募者：スポーツ・ローカル・アクト株式会社（東京都中央区）

○公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

作品名：特別支援学校在校生及び卒業生を対象としたスポーツ活動「皆生スポーツ広場」の取り組み

応募者：医療法人養和会（鳥取県米子市）

2. 選考委員の受賞作品に対する意見は次のとおり。

○作品名：とびしま海道 7 つの島、100km を走る旅

応募者：とびしまウルトラマラニック in せとうち・呉

とびしまウルトラマラニック 実行委員会（広島県呉市）

・風光明媚で食材にも恵まれた瀬戸内を背景とした企画で、スポーツツーリズムのコンテンツとしての要素が鑲められています。地域おこし協力隊という地域密着の視点で、関係人口の創出から移住・定住へつなげることを目標に、様々な取組を実施しています。大会で提供した食材を通販でセット販売、イベント民泊制度（住民の自宅が宿）を呉で初めて活用、オンライン開催など工夫がみられます。補給所での郷土料理提供、民泊による地域住民との交流、地元食材の通販など、関係人口づくりの取り組みを評価します。

○作品名：限界集落の小さな挑戦「田んぼで SUP」

応募者：丸山自治会（丸山生活改善センター運営委員会）（大分県竹田市）

・SUP と田んぼの発想が面白く、着眼点が新鮮で、素晴らしいアイデアと取組です。次年度以降も新たなアイデアが出てくることを期待します。川や湖等の自然資源がない中、田んぼを活用し SUP ヨガを実施するなど工夫がみられます。自治会として限界集落の中で、魅力づくりにチャレンジし続けている点を評価します。人口減少に歯止めのかからない集落での公民館コミュニティーの活動や、スポーツ観光のユニークなコンテンツを開発し、遊び心満載の事業ができている点にこの集落の強さを感じます。

○作品名：子どもから大人まで楽しめるご当地スポーツとしてのトレイルランニング

～環境教育との融合を通じた持続可能なアウトドアスポーツ普及への取り組み～

応募者：FUJIO PROJECT（神奈川県逗子市）

・持続可能なスポーツを地域に根付かせるために、特に子供達に対する環境教育と融合させたトレイルランニングです。2020年3月にかけて一斉休校により、行き場を失った子どもたちの受け皿として活動し、家族連れの参加者が多く、開催地域での観光や宿泊の効果が期待できます。関東を中心に10地域にまで拡大し、アウトドアスポーツの普及とともに、ジュニア教育を通して、マナーの向上や親子参加等を通じた環境保全の啓発など、その地道な活動は大いに評価出来ます。

○作品名：鳥取県の商工会が取り組んできた地域ブランディング事業が自転車を活用

したまちづくりを目指す官民連携協議会設立に貢献した4年間

応募者：鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」（鳥取県西伯郡日吉津村）

・少子・高齢化が進んでいる鳥取県西部において、地域を跨いだ鳥取県西部7商工会が連携し、サイクルツーリズムを中心とした地域ブランド化に取り組まれたことを評価しています。サイクルツーリズムが世界的に注目されている中で地域住民と商工会が一体となって、サイクリストを呼び込むことにより、地域の活性化や新たなビジネスチャンスに繋がり、健康に資する観光コンテンツとして今後成長していくことを期待しています。

○作品名：ラグビーワールドカップで生まれた市民活動で「スポーツでまちづくり」をレガシーに

応募者：熊谷ラグビー合唱団（埼玉県熊谷市）

・国歌を通じた国際交流という素晴らしい活動です。スポーツの国際試合において、音楽の力で交流を図る取り組みは、継続的な活動により海外からファンを集めることにつながります。RWCでの活動を通じて、国際交流や熊谷のラグビータウンとしてのブランド向上への貢献を評価します。スポーツをサポートする取り組みがレガシーとして市民のあいだに残っていることが素晴らしく、RWCのスポーツレガシーとして更なる発展と交流推進、参加者の健康づくりの面での活動も期待したい。

○作品名：スポーツ×ふるさと納税「ふるスポ！」で、チームのファンが地域のファンに。

スポーツをきっかけとしたシティプロモーションや地域振興に貢献

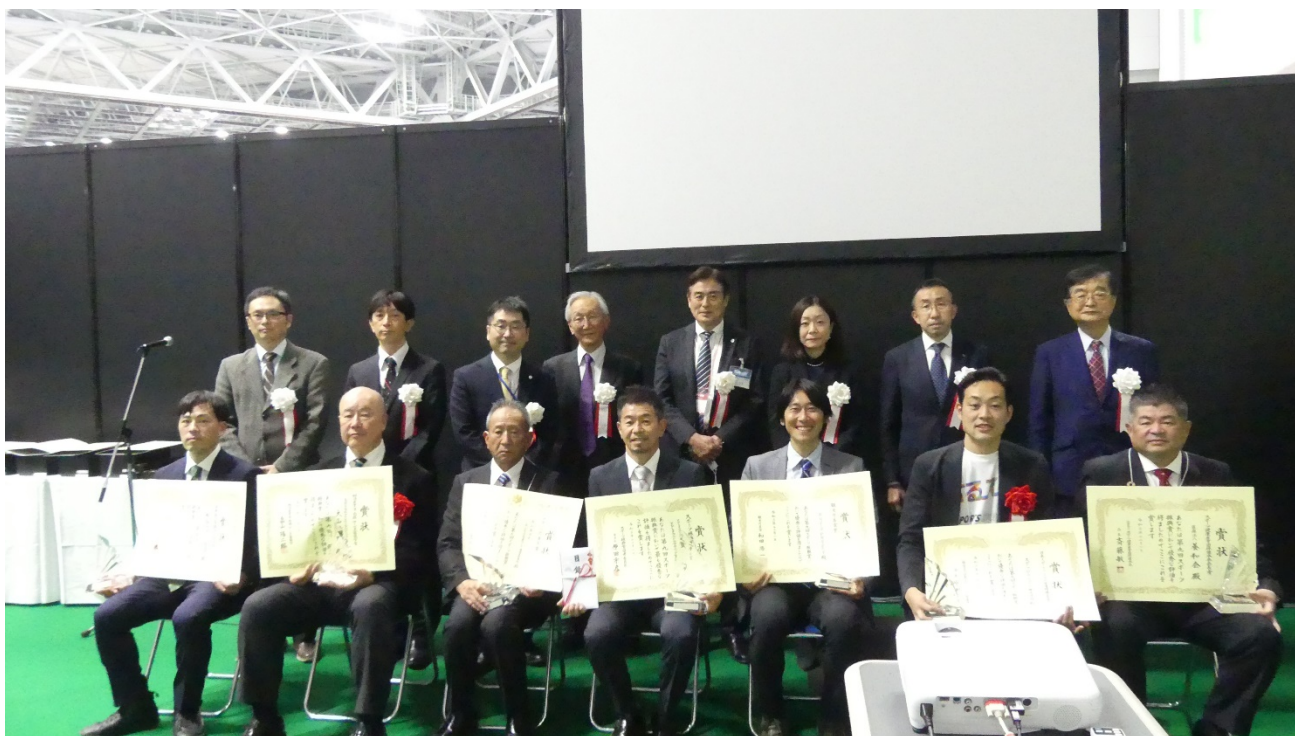
応募者：スポーツ・ローカル・アクト株式会社（東京都中央区）

・スポーツ版ふるさと納税という新しいジャンルの開拓です。スポーツ版ふるさと納税という新しいジャンルの開拓です。ふるさと納税×スポーツの視点が話題性・継続性があります。参加者の歩数を10歩1円に換算するという発想が素晴らしく、ファンを増やすことで市民参加を増やすことが可能な点が評価できます。事業に参加する方々の共感が寄付につながるいい仕組みです。選手への返礼品シェア・差入れといった工夫が興味深く、プロスポーツによる地域の関係人口づくりを評価します。なお、納税の使い道が重要。

○作品名：特別支援学校在校生及び卒業生を対象としたスポーツ活動「皆生スポーツ広場」の取り組み

応募者：医療法人養和会（鳥取県米子市）

・地域に目指した障がい者スポーツ支援活動として、またスポーツ庁が推進する障がい者スポーツ実施率の向上の点から評価に値します。特別支援学校を卒業した障がい者の継続的な運動支援の場づくりと専門職を中心とする地域住民との共生というテーマは、非常に社会的な意義の高い活動です。特別支援学校の体育館を活用し、障がい者スポーツの場の提供及び地域住民の参加による共生の取り組みは、地道だが堅実、継続的に行われている点が素晴らしく、地域に根付いた着実な活動として評価されます。



▲受賞者集合写真



▲会場内ブース：受賞団体パネル展示コーナー

4 | SPORTEC 2021



■SPORTEC 2021

- 日 時:2021年12月1日(水)～3日(金)
- 場 所:東京ビッグサイト 南展示棟 1～4 ホール
- 主 催:SPORTEC実行委員会
- 共 催:一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 ほか
- 来場者:28, 086 名(3 日間)

【12月1日(水)】

- ＜原田会長 基調講演＞
- ＜第9回スポーツ振興賞 授賞式＞
- スポーツ振興賞受賞者による発表とディスカッション(会場内ブースにてパネル展示)

【12月2日(木)】

- JSTA 協力:スポーツツーリズム実践セミナー「スポーツイベントによる地域活性化」
- 講演・モデレーター:東海大学 体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科講師 押見大地氏
- 登壇者:愛媛県観光スポーツ文化部 スポーツ局 地域スポーツ課 主任 西谷幸真氏
- 名古屋スポーツコミッション事務局 事務局長 高橋良好氏
- 神栖市 観光振興課 スポーツツーリズム推進室 室長 山本剛氏

【12月1日(水)～3日(金)】

- ＜JSTA パビリオン＞
- JSTA 会員希望者によるポスター掲示・カタログ展示ブース展開



5

第10回スポーツツーリズム・コンベンション in 名古屋



- 日 時: 2022年2月15日(火)10時00分～17時00分
※前日2月14日(月)は、スポーツ庁主催「地域スポーツコミッション シンポジウム in 名古屋」を同会場から配信(無観客・オンライン開催)
- 場 所: 名古屋国際センター 別棟ホール・本館 5 階会議室
オンライン(Zoom ウェビナー)
- 主 催: 名古屋市／名古屋スポーツコミッション
一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構
- 後 援: 観光庁／スポーツ庁
- 申込人数: 現地参加者 32名(登壇者・関係者のみ)
オンライン参加者 260名(会員・一般すべて含む)

<新型コロナウイルス感染症対策について>

現地開催に際しては、地元自治体、関係団体のガイドラインに即した対策を講じた上で実施。
登壇時は、パネル設置、距離確保、マイクの消毒等を実施した上でマスク非着用可。

- 後日配信: Youtube JSTA チャンネルにおいて期間限定公開
<https://www.youtube.com/user/sport2tourism>
- 視聴総数: 517回(3月16日時点)



第10回 スポーツツーリズム・コンベンション in 名古屋

2022年2月15日(火)



参加費無料

会場：名古屋国際センター

参加

オンライン開催

先着 500 名 (要事前申込) Zoom ウェビナー

最新の開催情報はJSTAウェブサイトをご覧ください

<https://sporttourism.or.jp>

10:00-
オンライン
配信①

開会式
主催者
挨拶

- ・名古屋スポーツコミッション 会長・名古屋市 副市長 杉野みどり
- ・名古屋スポーツコミッション 副会長・名古屋商工会議所 常務理事 田中豊
- ・一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 (JSTA) 会長・大阪体育大学 学長 原田宗彦

10:30-
オンライン
配信①

基調
講演



公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会 事務局長 成瀬一浩氏

1962 年生まれ、1987 年愛知県庁へ入庁。中部国際空港やリニア中央新幹線等のプロジェクト、企画行政に長きに渡って携わる。スポーツ行政には 2014 年度より従事し、アジア競技大会へは招致の段階から関わり、アジア競技大会推進課長、国際スポーツ大会推進監など関係の役職を歴任。2020 年 4 月より現職。趣味はランニングで、3 月には組織委員会のメンバーと県内で開かれる西尾マラソンと名古屋シティマラソンに出場予定。

11:00-
オンライン
配信②

パネルディスカッション「2020 から 2026 へ：SDGs に配慮した国際スポーツイベントの可能性」

第 20 回アジア競技大会への期待が高まる名古屋において、一過性のスポーツイベントとせず、大会終了後でも見据えたビジョンとして SDGs を踏まえた「2026 アジア競技大会 NAGOYA ビジョン」が本パネルディスカッションコーディネーターの原田宗彦座長の下、策定されました。新しいスポーツイベントの形として求められるサステナビリティやアジアにおける都市のプレゼンスの高め方について有識者と共に探ります。



東南アジア諸国連合 (ASEAN) 日本政府代表部 一等書記官 木田康征氏

1986 年福岡県生まれ。早稲田大学政治経済学部を卒業後、2009 年経済産業省入省。2015 年から 2017 年オーストラリアのグリフィス大学でスポーツマネジメントを学び、修士号を取得。2017 年にスポーツ庁に出向し、参事官 (民間スポーツ担当) 補佐として、スタジアム・アリーナ改革、スポーツオープンイノベーションなどスポーツ市場の活性化を担当。その後、経済産業省商務・サービスグループクールジャパン政策課、通商政策局総務課課長補佐 (JETRO・水産対策担当) を経て、2020 年 6 月より ASEAN 日本政府代表部一等書記官としてインドネシア駐在。主に日 ASEAN 間における経済、エネルギー分野の協力推進を担当。



公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会 事務局長 成瀬一浩氏



公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 スポークスパーソン 高谷正哲氏

大卒後、外資系広告代理店マッキンゼーエリクソン入社。営業に 5 年間従事した後、退職して渡米。シラキュース大学大学院にて広義の修士号を取得。帰国後、大阪世界陸上、2016 年オリンピック・パラリンピック招致の国際広報担当、国際トリアスロン連合のメディアマネージャーなど歴任。2011 年 9 月より、2020 年オリンピック・パラリンピックの招致活動を行い、その後東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会設立と同時に、戦略広報課長に就任。2017 年 8 月より現職。



一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長
大阪体育大学 学長
原田宗彦

プログラム内容が一部変更となる場合があります。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催内容が急遽変更となる場合がございます。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

分科会 1

13:30-

オンライン
配信③

1-1: アスリートキャリアを地域に活かす

多くのプロ・実業団チームが所在し、多数のオリンピックを輩出する名古屋市。アスリートが地域の中でキャリアを活かして見出せる社会貢献やビジネスモデルの可能性や課題を当事者の目線で探ります。



株式会社マイナビ アスリートキャリア事業室
事業室長 木村雅人氏

04年、株式会社マイナビ入社。現在はアスリートの「人材育成」と「就労支援」に関する事業を執行。大学スポーツ協会との共同事業開発責任者。アスリートが競技者としても引退後もイキイキと活躍できる社会を実現させるため、アスリートと社会を繋ぐエコシステム構築を目指して活動。



大同特殊鋼株式会社 人事部人材育成室・主任部長
大同特殊鋼ハンドボール部監督 地引貴志氏

茨城県守谷市生まれ。日体大在学中に2度の日本一を経験。06年大同特殊鋼入社。15年まで選手として在籍、社業をこなしながら日本選手権4連覇、2度の日本リーグ4連覇に貢献。また13年から14年には日本代表チームの主将を務める。15年に現役を引退後は一度社業に専念したが、18年にコーチとしてチームに戻り、19年に監督に就任。



名古屋グランパスゼネラルマネジャー 山口素弘氏

前横浜F・マリノス、東海大を経て、全日空（後の横浜フリューゲルス）に加入し、プロキャリアをスタート。99年に名古屋グランパスに加入。クラブ2つ目のタイトルとなる天皇杯優勝に貢献。日本代表中心選手として、98年フランスW杯では全3試合にフル出場。引退後は、解説者を経て、12年に横浜F.C.の監督に就任。18年に名古屋グランパスアカデミーディレクターに就任、現在はゼネラルマネジャーを務める。



中部大学 生命健康科学部 准教授 松村亜矢子氏

小学生からシンクロナイズド・スイミングを始め、05年と07年の世界水泳大会で6つのメダルを獲得。W杯やアジア大会などの国際大会でも数多くのメダルを獲得。08年北京オリンピック、チーム5位入賞。現役引退後、09年から中京大学職員として5年間勤務。退職後、15年に早稲田大学院スポーツ科学研究科（修士課程）を修了。19年慶應義塾大学メディアデザイン研究科（博士後期課程）を修了し、運動プログラムのデザインを中心に研究を進める。

<コーディネーター>
筑波大学大学院 人間総合科学学術院 准教授
JSTA 常任理事 高橋義雄（スポーツ庁スポーツキャリアサポートコンソーシアム会長）

分科会 2

13:30-

オンライン
配信④

2-1: ホストタウンレガシーから考えるスポーツと多様性

バラスポーツが大きな注目を集めた2020パラバスケ事前合宿受入れで得られた気付きや当事者の目線、競技団体の使命など、一過性ではなく共生社会を築いていくためのハードに捉われないレガシーの形とは。



学校法人名城大学 総務部人事課 猪股祐子氏

ANAで学んだおもてなし精神は、仕事だけでなく、その後の人生を豊かにしてくれました。空港の現場や接客研修講師を経て、名城大学キャリアセンターに転職し、エアライン就職サポート「M-CAP」を担当。エアライン研究グループ「M-Line」の学生たちと共に、学んだホスピタリティを生かしてホストタウン事業など、企業・行政の様々なイベントをサポート。現在、総務部人事課で研修や採用などづくりに係る業務に従事。



日本チェアスキー協会 理事
一般社団法人 ZEN 代表理事 野島弘氏

17歳の時の交通事故が原因で車いすユーザーに。2年間の入院後、社会復帰し仕事に明け暮れ、32歳でスキー競技に出会い、36歳で長野パラ日本代表になるレース前の公式トレーニングで大転倒し頸椎骨折で一時は手が麻痺となる。必死のリハビリで1年後にはデレンダに立ち、次のソルトレイクパラを目指すのが僅かに及ばず落選。リベンジを誓いトリノパラ日本代表となり一掃一掃レースに挑むも完走を最後に選手引退。引退後ジュニア選手普及育成活動を中心に様々な障害者スポーツを一年中取組み積極的に活動。



公益社団法人日本トリアスロン連合 (JTU)
専務理事 / JSTA 常任理事 大塚真一郎

84年から、国内外においてトリアスロン競技の普及に努め、NFでは独自のマーケティングシステムを確立。アジアトリアスロン同盟では19年6月に事務総長に。国際トリアスロン連合では04年から理事、16年に副会長当選。11年から21年の10年間JOC理事を務め、現在はJOC国際委員会委員。元スポーツ庁参与、現在は、第3次スポーツ基本計画部会委員。

<コーディネーター>
共同ビーアール株式会社 顧問 / JSTA 監事 吉永遼

15:00- 休憩

15:30-

オンライン
配信⑤

1-2: スポーツテックの最前線

2026年第20回アジア競技大会開催に向け、アリーナやスタジアムの大規模改修が進む名古屋市中、スポーツの最新テクノロジーが地域や社会、ビジネスにもたらす可能性を見出します。



EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
エグゼクティブディレクター 岡田明氏

公共・不動産セクターにてスポーツを起点としたビジネス、テクノロジーコンサルティング担当。国内大手コンサルティング会社でシステムコンサルタントとして流通・不動産・保険など多様なプロジェクトに従事。外資系総合ITベンダーにてスポーツビジネスリーダーとしてプロ野球団のDX推進、スタジアム・アリーナ構想などに携わる。デザイン思考を用いたUXデザインなど顧客を中心としたビジネスデザインの豊富なプロジェクト経験も持つ。



凸版印刷株式会社 スポーツ事業開発室 事業推進部
部長 大川誠氏

96年入社。エコロジーやCSRをテーマに顧客企業が行うコーポレートコミュニケーションの企画制作業務に従事後、自社のCSR推進担当。17年より、凸版印刷がパートナーとなったラグビーW杯2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のアクティベーション活動の統括や、スポーツ領域における新たな事業創出を推進。



株式会社 NTT ドコモ スポーツ&ライブビジネス推進室・
ベニュー担当課長 [愛知国際アリーナスタッフフォーメンメンバー]
上村哲也氏

日本テレビグループからキャリアを開始。スポーツ&エンターテインメント業界で17年のマーケティング&広報経験。RWC2019組織委員会マーケティング部長や東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ニュースデスクを歴任。2021年より現職。



<コーディネーター>
中京大学 スポーツ科学部 准教授 舟橋弘晃氏

15年、早稲田大学院スポーツ科学研究科にて博士号（スポーツ科学）を取得。日本学術振興会特別研究員を経て、15年より早稲田大学スポーツ科学学術院で教鞭をとる。21年より現職。専門は、各種スポーツ投資のインパクトを評価する「スポーツ経済学」と、それらの社会的受容性を分析する「スポーツ政策」。

15:30-

オンライン
配信⑥

2-2: プロスポーツにおけるスポーツホスピタリティの展望

ホスピタリティ商品のみならず、チームと地域の連携によりツーリズムやまちづくり、地域経済への貢献などステークホルダーの相互作用によるスポーツホスピタリティの展望を事例と共に導きます。



名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社 事業戦略
推進グループグループマネージャー 園部祐大氏

名古屋生まれ名古屋育ち。セールスプロモーション業界にて企業のコミュニケーション戦略立案力と企画力を磨き現職へ。プロスポーツの地域密着・貢献のあり方は地域社会課題解決であると考え、多様なステークホルダーを巻き込めるプロスポーツの力を強みに、コロナやテクノロジー等による時代の変遷と共に変わり続ける社会課題の解決スキームと環境・体制の構築へ動いている。



沖縄市企画部 参事 兼 プロジェクト推進室
室長 山内強氏

渾身の力をこめて新たな沖縄市のランドマークとなる施設「万人規模の多目的アリーナ建設」事業において、14年度のスタート時から「沖縄アリーナ」建設に携わる。14年度は企画部プロジェクト推進室主幹、15年度に室長を経て、18年度より現職。現在は今年度竣工した沖縄アリーナの運営と整備、プロフィット化に向け奔走している。



静岡ブルーレヴズ株式会社 代表取締役社長 山谷拓志氏

93年リクルート入社。営業、企画職に従事。アメフトチーム「リクルートシーガルズ（当時）」の選手としても活躍し、96・98年度ライスボール優勝。00年選手引退。元アメフト日本代表。リンクアンドモチベーション・スポーツマネジメント事業部長を経て、07年にB1リーグ所属「宇都宮ブレックス」を創設。設立から3年目で田嶋勇大選手を獲得し日本となり3期連続黒字化を達成。日本バスケットボールリーグ専務理事を経て、14年よりB1「茨城ロボッツ」社長就任。経営再建し21年B1リーグ昇格を果たす。21年6月から現職。



<コーディネーター>
株式会社ジャパン・スポーツ&ツーリズム・プレミア 倉田知己氏

84年日本交通公社（現JT）入社。豪州駐在時にシドニーオリンピック現地輪転本部長として従事後、五輪TOPスポンサーに駐在し五輪グローバルホスピタリティ3大会担当。その後JTでFIFAワールドカップ五輪事業等を統括。ラグビーW杯責任者として17年スポーツホスピタリティ専門のSTHJapan社設立。20年JT引退後、ジャパン・スポーツ&ツーリズム・プレミア社を設立。



主催 名古屋市 | 名古屋スポーツコミッション | 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構
後援 観光庁 | スポーツ庁

プログラム内容が一部変更となる場合があります。新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催内容が急遽変更となる場合がございます。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

記録写真

受付 2月15日(火) 9:30～(別棟ホール ロビー)



会場(配信設備)



開会式 10:00～10:30 (別棟ホール)



主催者挨拶
名古屋スポーツコミッション 会長
名古屋市 副市長
杉野 みどり



主催者挨拶
名古屋スポーツコミッション 副会長
名古屋商工会議所 常務理事
田中 豊



主催者挨拶
一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長
大阪体育大学 学長
原田 宗彦



総司会
名古屋グランパス スタジアムDJ
YO!YO!YOSUKE 氏

記録写真

基調講演

10:30～11:00（別棟ホール）

- ・公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会 事務局長
成瀬 一浩 氏



パネルディスカッション 「2020から2026へ：SDGsに配慮した国際スポーツイベントの可能性」

11:00～12:10（別棟ホール）

＜パネリスト＞

- ・公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会 事務局長 成瀬 一浩 氏
- ・東南アジア諸国連合（ASEAN）日本政府代表部 一等書記官 忒田 康征 氏
- ・公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
スポークスパーソン 高谷 正哲 氏

＜コーディネーター＞

原田 宗彦（JSTA会長）



記録写真

【分科会1-1】「アスリートキャリアを地域に活かす」

13:30～15:00（別棟ホール）

- ・株式会社マイナビ アスリートキャリア事業室 事業室長 木村 雅人 氏
- ・大同特殊鋼株式会社 人事部人材育成室・主任部員、大同特殊鋼ハンド ボール部監督 地引 貴志 氏
- ・名古屋グランパス ゼネラルマネジャー 山口 素弘 氏
- ・中部大学 生命健康科学部 准教授 松村 亜矢子 氏

＜コーディネーター＞

高橋 義雄（JSTA理事／筑波大学大学院 人間総合科学学術院 准教授）



【分科会1-2】「スポーツテックの最前線」

15:30～17:00（別棟ホール）

- ・EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 エグゼクティブディレクター 岡田 明 氏
- ・株式会社NTTドコモ スポーツ&ライブビジネス推進室・ベニュー担当課長（愛知国際アリーナタスクフォースメンバー） 上村 哲也 氏
- ・凸版印刷株式会社 スポーツ事業開発室 事業推進部 部長 大川 誠 氏

＜コーディネーター＞

舟橋 弘晃 氏（中京大学 スポーツ科学部 准教授）



記録写真

【分科会2-1】「ホストタウンレガシーから考えるスポーツと多様性」 13:30～15:00（本館5階 第一会議室）

- ・学校法人名城大学 総務部人事課 猪股 祐子 氏
 - ・日本チェアスキー協会 理事 野島 弘 氏
 - ・公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）専務理事 大塚 眞一郎（JSTA理事）
- ＜コーディネーター＞
吉永 憲（JSTA理事／共同ピーアール株式会社 顧問）



【分科会2-2】「プロスポーツにおけるスポーツホスピタリティの展望」 15:30～17:00（本館5階 第一会議室）

- ・名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社 事業戦略推進グループ グループマネージャー 園部 祐大 氏
 - ・沖縄市 企画部 参事 兼 プロジェクト推進室室長 山内 強 氏
 - ・静岡ブルーレヴズ株式会社 代表取締役社長 山谷 拓志 氏
- ＜コーディネーター＞
倉田 知己 氏（株式会社ジャパン・スポーツ&ツーリズム・プレミア 代表取締役）



6 | JSTA ウェビナー



2021 年度実施の JSTA セミナーはすべてウェビナー形式で実施

2021 年度 第1回 JSTA ウェビナー

「事前合宿受入れ自治体に聞く 海外チーム合宿の課題と可能性」

日 時: 2021 年 9 月 28 日 (火) 15:00～16:30

会 場: オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

○登壇者



◆オランダ女子サッカーチーム

講演① 一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川
岡野大和氏



◆フランス女子・男子スケートボードチーム

講演② 笠間スポーツコミッション
笠間市教育委員会教育部スポーツ振興課
オリンピック・パラリンピック推進室
新妻佑基氏



◆ウクライナ男子ゴールボールチーム

◆カナダ女子ゴールボールチーム

講演③ さっぽろグローバルスポーツコミッション
札幌市スポーツ局誘致推進部
戦略誘致担当課
大沼孝彰氏

○トークディスカッション&質疑応答 コーディネーター

JSTA 事務局長 中山哲郎

2021年度 第2回 JSTA ウェビナー

「利用」する国立公園へ 地域資源のブランド化とエシカルツーリズム

～コロナ禍で高まるアウトドアアクティビティ人気と注目される国立公園の意義～

日 時: 2021年10月28日(木) 15:00～16:00

会 場: オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

○登壇者

イントロダクション

『自然フィールドにおける“エシカルツーリズム”を考える』

一般社団法人 日本アドベンチャーツーリズム 協議会 理事

山下 真輝 氏 (JSTA セミナー委員)

講演①

『国立公園の今』

環境省 自然環境局 国立公園課

国立公園利用推進室 室長補佐

尾崎 絵美 氏

講演②

やんばるエコツーリズム研究所 代表

中根 忍 氏



2021年度 第3回 JSTA ウェビナー

「スポーツで『健幸』まちづくり 「スポーツウエルネス」×「スマートウエルネスシティ」

日 時: 2021年12月7日(火) 14:00～16:00

会 場: オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

○登壇者

イントロダクション

JSTA 理事

筑波大学 体育系 准教授

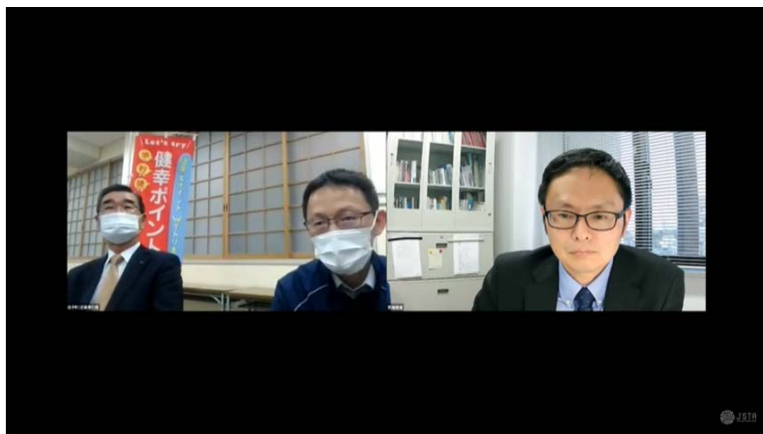
高橋 義雄氏



講演①

筑波大学 体育系 教授

久野 譜也氏



講演②

千葉県白子町 健康福祉課 健幸づくり係 係長 (保健師)

近藤 雅巳氏

トークセッション&質疑応答

ゲスト: 千葉県白子町 町長 石井 和芳氏

7

スポーツコミッション人材養成アカデミー モデル講座 ～スポーツによるまちづくりを推進するための基礎講座～



地域スポーツコミッションとは、地方公共団体、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによるまちづくり・地域活性化を推進していく組織の総称であり、2021年10月現在、国内で177団体が確認されている。JSTAでは、今後設立された地域スポーツコミッションが安定した組織へと成長していくためには、携わる人材の育成が非常に重要だと考え、今後本格始動を予定している「スポーツコミッション人材養成アカデミー」のモニター講座を、全3回で開講した。

今回は基礎講座と題し、今後スポーツコミッションの立上げを検討している自治体担当者、コミッション事業に着任されたばかりの方、地域おこし協力隊の方などを対象に参加者を募集したところ、多数の応募があり、当初より参加人数枠を増やし実施した。

○開催日時：各日 19時00分～20時30分

DAY 1：2022年1月18日(火)

DAY 2：2022年1月24日(月)

DAY 3：2022年1月31日(月)

○開催形式：オンライン（Zoom ミーティング）

○参加対象：スポーツによるまちづくり・地域活性化に興味のある方

※自治体担当者、地域スポーツコミッション担当者、地域おこし協力隊、
スポーツチーム、スポーツ施設の方など

○参加条件：全3回の講座に全て参加できること

講座終了後のアンケートに回答いただけること

○参加費：無料

○主催：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

○講座の特徴

・一方向的な講義形式の講座ではなく、グループディスカッションや発表を取り入れたインタラクティブ（双方向）型の講座とした。

・Facebook上の機能を用いて参加者限定のグループページを作成し、講座期間中及び講座終了後もオンライン上でネットワークが維持できるようにした。

○参加人数：30名（当初予定12名）

講師・コーディネーター

<DAY1>
1/18(火)
19:00-20:30

テーマ スポーツによる まちづくり最前線

講師 原田 宗彦 大阪体育大学 学長
一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事



ペンシルバニア州立大学で博士号(Ph.D.)を取得し、フルブライトのシニアリサーチャーとしてテキサス A&M 大学で研究を行う。
学外の活動では、アジア・スポーツマネジメント学会の会長等を務めた後、現在は、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)代表理事、日本スポーツマネジメント学会会長、公益法人バレーボール協会理事などを務める。
スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツツーリズム、レジャー研究の分野での著書が多数ある。

<DAY2>
1/24(月)
19:00-20:30

テーマ スポーツコミッションに求められる人材

講師 平 八郎 金沢文化スポーツコミッション 代表



慶應義塾大学卒業後、日本国土開発(株)入社、全日空エンタプライズ(株)(旧全日空ホテル運営会社)を経て、IHGANA 合同会社へ。ANA クラウンプラザホテル成田総支配人、ANA クラウンプラザホテル金沢総支配人、札幌全日空ホテルをベースにエリア総支配人として4ホテルを統括後、ANA クラウンプラザホテル沖縄ハーバービューをベースに沖縄地区リージョナル総支配人、2016年4月からANA クラウンプラザホテル金沢を拠点に、福岡・広島・富山・札幌・ホリデイ・インすすきの・仙台・金沢スカイを統括するリージョナル総支配人を歴任。
2018年7月、金沢文化スポーツコミッション発足より代表を務める。慶應義塾大学在学中は体育会サッカー部に所属。

<DAY3>
1/31(月)
19:00-20:30

テーマ 実例と実践で学ぶスポーツコミッション

講師 中山 哲郎 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局長



1979年株式会社日本交通公社(現(株)JTB)入社。
北海道・大阪・ジュネーヴ・東京・シンガポール等での勤務を経て、2016年12月退職。
JTB及び日本オリンピック委員会、2016年東京オリンピック・パラリンピック招致委員会において、数多くのオリンピック・パラリンピック、FIFA ワールドカップ等のスポーツイベント、スポーツツーリズム推進に関わる。

講師 藤原 直幸 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 地域スポーツ戦略ディレクター



早稲田大学政治経済学部を卒業後、番組制作会社を経て、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科を修了。その後公益財団法人笹川スポーツ財団でスポーツ予算や公共施設等のスポーツ政策など様々な調査・研究に携わる。
2019年から一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構にてスポーツコミッション設立のコンサル等を行う一方、広島県地域政策局スポーツ推進課が立ち上げたスポーツコミッション「スポーツアクティベーションひろしま」の市町支援戦略ディレクターとしてスポーツと地域活性化をテーマに活動を行う。

全3回

コーディネーター 押見 大地 東海大学 体育学部
スポーツ・レジャーマネジメント学科 講師



早稲田大学卒業後、(株)JTB 首都圏に勤務。退社後、早稲田大学スポーツ科学研究科にて博士号を取得。早稲田大学スポーツ科学学術院助教オタワ大学客員研究員を経て現職。アジアスポーツマネジメント学会副会長、広島県スポーツ政策アドバイザーなどを務め、スポーツマネジメントに関する研究論文・著書を多数執筆。

諸事情により講師やテーマが変更になる場合があります。

8

スポーツ庁「地域スポーツコミッションの設立促進及び経営の多角化に向けたコンサルティング事業」



スポーツ庁は、2021 年度末までに地域スポーツコミッション（SC）を 170 まで拡大することを目指しており、新たに設立を目指す地方自治体及び経営の多角化に向けて複合的な事業に取り組む地域 SC に対する総合コンサルティング事業を公募した。

3 月上旬に開始した公募に JSTA は応札し、4 月 15 日に受託候補者に決定した旨の連絡を受けた。

1. 担当部局

スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付地域振興係

2. 業務名

地域スポーツコミッションの設立促進及び経営の多角化に向けたコンサルティング事業

3. 委託期間

2021 年 5 月 14 日（金）から 2022 年 3 月 31 日（木）まで

4. 業務内容

（1）事業の進捗管理及びアウトプット作成支援等

事業を効果的に行うための事前準備、補助事業者からの意見・照会等に対応する一元的な窓口の設置及びノウハウの蓄積、（2）のコンサルティングの進捗管理及び定期報告、他の地域への横展開を促進するための効果的なアウトプット作成支援等。

（2）地域 SC の設立促進及び経営の多角化に向けたコンサルティング

地域 SC の新規設立の促進及び経営の多角化に向けた総合的なコンサルティング、他の地域に展開可能なフレームワーク構築の調査・研究、シンポジウム等の開催による対外的な発信等。

（3）地域 SC の組織体制及び活動概況の調査

既存の地域 SC の組織体制や活動概況の詳細な調査・分析、課題の抽出と具体的な対応策の考察等。

5. 実施体制

JSTA で実施

6. コンサルティング対象自治体及び団体

総合コンサルティング事業で支援した自治体（新規設立）

自治体名	人口（人）	団体名称（申請当時）
新潟県村上市	56,448	むらかみスケートボードコミッション（仮）
山梨県韮崎市	28,868	韮崎市スポーツコミッション（仮）
愛知県名古屋市	2,324,877	名古屋スポーツコミッション
大阪府	8,802,755	大阪スポーツプロジェクト （OSAKA SPORTS SPROJECT）
熊本県水俣市	23,502	スポーツコミッションみなまた（仮）
佐賀県武雄市	47,521	武雄市スポーツコミッションー注1

注1) 佐賀県武雄市はコンサルティングを希望していない。

総合コンサルティング事業で支援した団体（自立経営）

団体名（自治体名）	人口（人）	団体名称
北海道壮瞥町	2,409	そうべつアウトドアネットワーク
北海道美瑛町	9,700	美瑛町ー注2
秋田県大館市	68,285	スポーツコミッション大館
茨城県かすみがうら市	39,896	かすみがうらアクティビティコミッションー注2
千葉県銚子市	57,952	特定非営利活動法人 銚子スポーツコミュニティ
長野県軽井沢町	19,648	軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会
長野県長和町	5,870	長和町スポーツコミッション
静岡県裾野市	50,313	裾野市スポーツツーリズム
静岡県御殿場市	85,864	御殿場市スポーツタウン推進連絡会ー注2
三重県	1,777,098	一般社団法人みえゴルフツーリズム推進機構ー注2
高知県土佐町	3,997	一般社団法人土佐町スポーツコミッション
熊本県阿蘇市	24,745	阿蘇サイクルツーリズム学校「コギダス」協議会 ー注2
沖縄県沖縄市	141,771	一般社団法人沖縄市観光物産振興協会

注2) 北海道美瑛町、茨城県かすみがうら市、静岡県御殿場市、三重県、熊本県阿蘇市はコンサルティングを希望していない。

7. 成果物（スポーツ庁ホームページ掲載）

「地方自治体及び地域スポーツコミッションに対する総合的なコンサルティング 報告書」

<https://www.mext.go.jp/sports/content/000176770.pdf>

「地域スポーツコミッション データ&ナレッジ」

<https://www.mext.go.jp/sports/content/000176764.pdf>

9

スポーツ庁「武道ツーリズムネットワーク構築・強化事業 (スポーツによる地域の価値向上プロジェクト)」



スポーツ庁公募事業「武道ツーリズムネットワーク構築・強化事業(スポーツによる地域の価値向上プロジェクト)」を(株)JTBコミュニケーションデザイン(2022年度よりJSTA法人会員)が受託し、JSTAが一部事業の運営、開催の再委託を受けた。

1. 担当部局

スポーツ庁 参事官(地域振興担当) 付地域振興係

2. 業務名

武道ツーリズムネットワーク構築・強化事業(スポーツによる地域の価値向上プロジェクト)

3. 委託期間

2022年1月19日(水)から2022年3月31日(木)まで

4. 業務内容

①「武道ツーリズム認知向上のための検討会議」の実施

開催日時: 令和4年2月28日(月) オンライン開催

構成員(出席者のみ・敬称略)

大阪体育大学	学長	原田 宗彦 *
公益財団法人日本武道館	理事・事務局長	吉川 英夫
グーグル合同会社	Government and Public Sector, Sales Strategy Division 官公庁担当部長	田島 弘教
日本航空株式会社	地域事業本部 支援推進部 部長	高橋 秀次
株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス	スポーツ事業推進部	斉藤 健
金沢文化スポーツコミッション	代表	平 八郎
株式会社アイサイト	代表取締役	馬場 誠
山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 特任教授	William Reed
株式会社小西美術工藝社	代表取締役社長	David Atkinson

②Facebook など SNS を活用したデジタルプラットフォームの立ち上げと運営

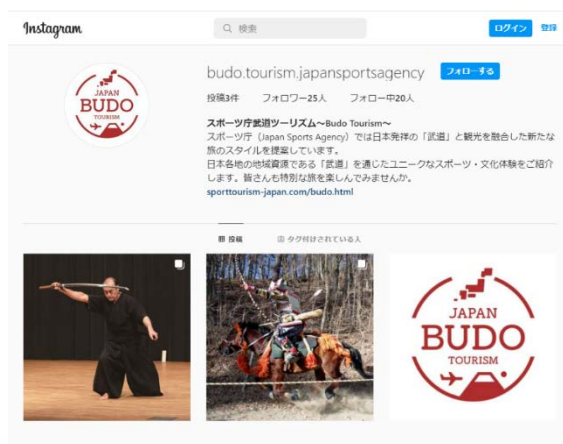
○Facebook グループページ：武道ツーリズムの輪を広げよう

<https://www.facebook.com/groups/budo.tourism.wa>

○Instagram：スポーツ庁武道ツーリズム～Budo Tourism～

(@budo.tourism.japansportsagency)

<https://www.instagram.com/budo.tourism.japansportsagency>



③「武道ツーリズムオンラインミーティング」(セミナー・ネットワーキング) の開催運営

開催日時：令和 4 年 3 月 9 日 (水) 14:00～16:30

オンライン開催

＝ 1 部：基調講演及び事例紹介＝

- (1) 主催者代表挨拶 スポーツ庁 参事官(地域振興担当) 原口大志氏
- (2) 基調講演「武道ツーリズムコンテンツによる地域振興の可能性」
大阪体育大学学長／一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構代表理事
原田 宗彦氏
- (3) 今年度スポーツ庁事業の取り組み紹介
- (4) 事例紹介
 - 1：山形県村山市商工観光課 片桐 諒氏
「居合道で街おこし～自治体としての武道ツーリズム創出の取り組み」
 - 2：一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)
企画・施設事業部 企画課 山城 圭之慎氏
「沖縄空手をテーマとした新観光素材商品化の取り組み」
 - 3：Ageshio Japan 株式会社 COO 古田 桂一氏
「デジタルを活用した武道のオンライン稽古の取り組み」



＝ 2 部：ネットワーキング＝

各事例紹介の登壇者をモデレーターに 3 つのルームに分かれ、相互交流を実施。

(参加は希望者のみ)

- ◆ルーム①片桐氏（村山市）「テーマ：地域資源を生かしたコンテンツづくり」
- ◆ルーム②山城氏（OCVB）「テーマ：地域一体でのコンテンツ展開」
- ◆ルーム③古田氏（Ageshio Japan）「テーマ：デジタル×武道ツーリズム」

5. 実施体制

受託事業者：(株) JTB コミュニケーションデザイン

再委託（一部事業）：JSTA

10 | ヘルスツーリズム認証



スポーツ/アクティビティはヘルスツーリズム・プログラムの重要な構成要素であるとして、JSTA は 2018 年より、「ヘルスツーリズム認証」を交付するヘルスツーリズム認証委員会を運営メンバーに参画している。

＜ヘルスツーリズム認証委員会共同運営組織＞

特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構

一般財団法人日本規格協会

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構



○ヘルスツーリズム認証とは



- ・旅の楽しみに健康へのケアをプラス。ヘルスツーリズム認証は、[旅と健康]という新しい視点から観光商品を客観的に評価する第三者認証サービス。
- ・ヘルスケアサービスの品質を「見える化」。
- ・品質保証が、消費者にもプログラム提供者にもメリットをもたらす。
- ・認証マークで旅の楽しみに付加価値をプラスする。

※初回認証から 3 年間有効(更新後は 2 年間有効)。

認証取得後、1 年ごとに認証体制が維持されていることを確認するためにサーベランス審査を行う。

また、認証の更新可否を判断するため初回認証取得から 3 年後に更新審査を行う。

ヘルスツーリズム認証 プログラム一覧 (2022 年3月末)

都道府県	市町村	プログラム名	事業所名
青森	五所川原市	DAZAI 健康トレイル青森ひばの神木コース	一般社団法人かなぎ元気村
	青森市	OWANI 阿闍羅の修験道スノーハイクと温浴体験	株式会社ブルーモリス
	青森市	あおもりベイタラソウオーク&ヨガ	株式会社ブルーモリス
秋田	三種町	秋田犬と散歩(健康ウォーキング)	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
	三種町	じゅんさい摘み採り体験	一般社団法人ヘルスデザイン秋田
山形	上山市	クアオルト健康ウォーキング(空色・暮色ウォーキング)	一般社団法人上山市観光物産協会
	上山市	クアオルトバランス膳・早朝ウォーキング	有限会社彩花亭時代屋
	上山市	クアオルトこんにやく会席箱膳	株式会社丹野こんにやく
	上山市	クアオルトかみのやま会席	株式会社月岡ホテル
福島	朝倉町	ヘルスコンシャスプラン	株式会社ルネサンス棚倉
	北塩原村	多様な水辺・命の森裏磐梯へようこそ	特定非営利活動法人裏磐梯エコツーリズム協会
群馬	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム 一の倉沢ハイキング	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム スノーシューハイキング	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム ノルディックウォーク たくみの里コース	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム ノルディックウォーク 湯宿温泉コース	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム ノルディックウォーク 谷川岳・一の倉沢コース	一般社団法人みなかみ町体験旅行
	みなかみ町	みなかみヘルスツーリズム リバーラフティング	一般社団法人みなかみ町体験旅行
千葉	南房総市	癒しの森のセラピーウォーキング	一般社団法人南房総健康ラボ
新潟	妙高市	妙高型健康保養地プログラム	一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント
富山	富山市	とやま健泊@立山山麓	株式会社アピアスポーツクラブ
石川	小松市	楽しく「歩ける」生涯スポーツゴルフと「心と体の食」 再発見の旅	北國リゾート開発株式会社
長野	飯山市	なべくら高原 森林セラピー散策	一般社団法人信州いいやま観光局
	飯山市	斑尾高原 標高 1000m のブナの森で森林ヨガ	一般社団法人信州いいやま観光局
	飯山市	北竜湖 ハート型の湖で健康ヨガ	一般社団法人信州いいやま観光局
	茅野市	健康いきいき診断プログラム体力年齢アップ 健康運動コース	株式会社池の平ホテル&リゾート
	木曽町	木曽開田高原健康ウォーキング	一般社団法人木曽おんたけ健康ラボ
	北安曇郡池田町	ハーバルウェルネスリトリート	株式会社 SouGo
三重	明和町	ココロとカラダを整える「大淀海岸タラソテラピーウォーク」	一般社団法人明和観光商会
京都	京丹後市	海の京都「百寿人生のレシピ」体感プログラム	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社
大阪	高槻市	サンスター心身健康道場一日体験	サンスター株式会社
兵庫	神戸市	ウェルネスウォーキング	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	乳がんリハビリヨガ	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	体力測定・運動能力チャレンジプログラム	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	神戸市	ランニングクリニック	株式会社らスイート 神戸みなと温泉蓮
	多可町	”不良長寿の道”多可の森健康ウォーキング	一般社団法人多可の森健康協会
熊本	阿蘇村	大自然阿蘇健康の森 基本プラン 3 泊 4 日	株式会社阿蘇ファームランド
大分	竹田市	こころ・からだよみがえる健康ながゆ旅	特定非営利活動法人竹田市観光ツーリズム協会

11 千代田ツーリズムイノベーションベース (CTIB)

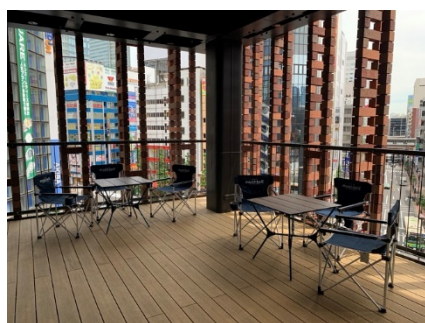


JSTA 事務局が入居している千代田区公共施設「万世橋出張所・区民館」の 5 階部分は、(一社)千代田区観光協会より観光関連事業を目的とした運用が可能な法人・団体に対して、JSTA が 1 フロアを貸付されており、2021 年 4 月よりツーリズム推進組織や関連事業者の拠点として「千代田ツーリズムイノベーションベース」(略称:CTIB)を運営している。

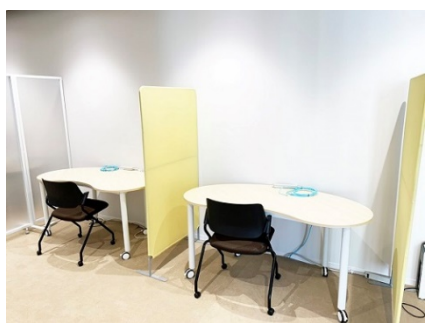
JSTA 会員、千代田区観光協会会員が優先的に利用できるスペースのほか、同所を通じて JSTA 会員と千代田区の観光に関連する組織間マッチングなど情報発信の場として活用していく。

○事業一覧

月	場所	実施内容
4 月	5 階・シェアスペース	JSTA 移転・シェアスペース備品搬入設置
	シェアスペース	社会福祉協議会(6 階入居)意見交換会
	5 階	テナント入居希望者内覧対応(以降、7 月まで随時)
5 月	シェアスペース	コピー機設置調整
6 月	シェアスペース	千代田区観光協会打合せ(以降、随時)
	シェアスペース	JSTA 会員・一般向けにシェアスペースオープン
	シェアスペース	入居者(JSTA 会員)と千代田区事業者とのマッチング
7 月	5 階	テナント 2 室入居(残り 1 室)
		千代田区長・関連部課 秋葉原周辺 e-sports 視察同行
8 月	5 階	テナント 1 室入居(満室)
	シェアスペース	入居者利用開始(以降、随時)
	シェアスペース	千代田区観光協会会員の利用登録、申込み開始
9 月	5 階・シェアスペース	千代田区内商工関連事業団体視察
		千代田区万世橋出張所・区民館 入居者連絡調整会議



▲5 階テラス



▲シェアスペース<デスク A>



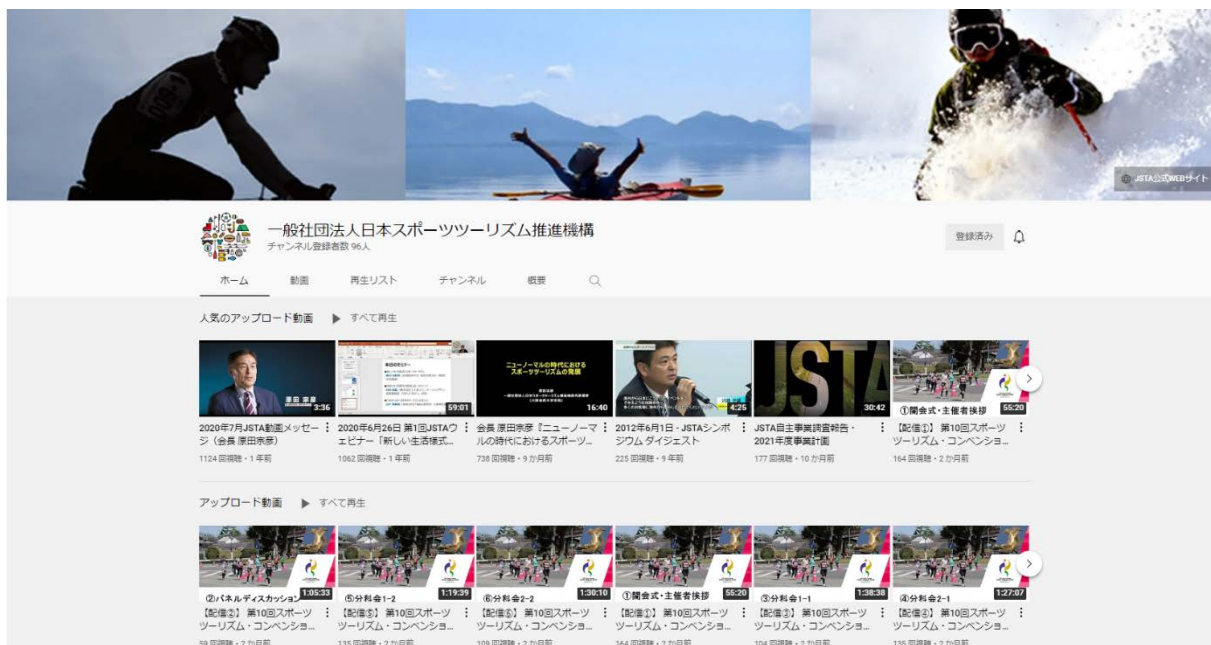
▲シェアスペース<全スペース>

12 YouTube チャンネル（動画配信の活用）



JSTA

セミナー、コンベンション等のアーカイブ動画のほか、新規会員の紹介プレゼンテーション動画など YouTube を活用した情報発信を行っている。



○YouTube チャンネル URL

<https://www.youtube.com/sport2tourism>

○2021 年度新規会員紹介

（収録と公開は希望があった法人・団体のみ）

- ・RX Japan 株式会社
- ・市原市
- ・一般社団法人エス・インパクト
- ・株式会社ジェイアール東日本企画
- ・BALUE 株式会社
- ・ピークス株式会社
- ・リアル野球盤協会



13 | 2021年度 JSTA会員一覧



法人		公益法人	
1	アシックスジャパン株式会社	1	特定非営利活動法人出雲スポーツ振興 21
2	株式会社梓設計	2	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構
3	EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社	3	一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川
4	株式会社 ADK マーケティングソリューションズ	4	一般社団法人宇部市スポーツコミッション
5	株式会社近宣	5	一般社団法人 エス・インパクト
6	株式会社クラブビジネスジャパン	6	大分県スポーツ合宿誘致推進協議会
7	クリヤマ株式会社	7	おかやまスポーツプロモーション機構
8	株式会社クリーン工房	8	一般財団法人関西観光本部
9	クロススポーツマーケティング株式会社	9	一般社団法人九州スポーツツーリズム推進協議会
10	株式会社ジェイアール東日本企画	10	一般社団法人さいたまスポーツコミッション
11	Japan Sports Week 事務局	11	静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会
12	株式会社 JTB	12	静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会
13	清水建設株式会社	13	スポーツコミッション青森
14	株式会社スポーツニッポン新聞社	14	スポーツコミッション関西
15	SPORTEC 株式会社	15	スポーツコミッションせんだい
16	株式会社セレスボ	16	一般社団法人世羅町観光協会
17	株式会社ゼンリン	17	特定非営利活動法人地域政策イノベーションフォーラム
18	株式会社ダスキン	18	一般財団法人千葉県まちづくり公社
19	東亜道路工業株式会社	19	一般社団法人日本チャレンジゴルフツアー協会
20	東武トップツアーズ株式会社	20	特定非営利活動法人銚子スポーツコミュニティ
21	凸版印刷株式会社	21	一般社団法人千代田区観光協会
22	日本航空株式会社	22	公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
23	株式会社日本総合研究所	23	長崎県スポーツコミッション
24	株式会社日本旅行	24	長和町スポーツコミッション／信州・長和町観光協会
25	株式会社八咲	25	公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー
26	BALUE 株式会社	26	名古屋スポーツコミッション
27	ピークス株式会社	27	新潟市文化・スポーツコミッション
28	株式会社ヒト・コミュニケーションズ	28	一般社団法人日本イベント産業振興協会
29	株式会社フューチャーセッションズ	29	一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会
30	プラットフォームサービス株式会社	30	一般社団法人日本ゴルフツーリズム推進協会
31	株式会社ブリックス	31	特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構
32	株式会社マイナビ	32	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
33	ミズノ株式会社	33	前橋スポーツコミッション
34	株式会社モンベル	34	一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

自治体		スポーツ団体	
1	愛知県	1	MLB JAPAN
2	市原市	2	沖縄県サイクリング協会
3	茨城県	3	サイバーダイン茨城ロボッツ (B.LEAGUE)
4	岩手県 (いわてスポーツコミッション)	4	世界野球ソフトボール連盟 (WBSC)
5	上田市	5	公益財団法人全日本空手道連盟
6	大館市	6	一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会
7	岡山市	7	一般社団法人日本スノースポーツ&リゾーツ協議会
8	鹿児島市	8	公益社団法人日本トライアスロン連合
9	金沢市 (金沢文化スポーツコミッション)	9	公益財団法人日本バレーボール協会
10	香美町	10	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構
11	岐阜県	11	日本フリースタイルフットボール協会
12	熊谷市 (熊谷スポーツコミッション)	12	公益社団法人日本プロサッカーリーグ
13	熊本県	13	PSA ASIA (プロスノーボーダーズ アソシエーション アジア)
14	黒潮町	14	リアル野球盤協会
15	佐賀県 (佐賀県スポーツコミッション)		
16	札幌市		
17	静岡県		
18	大仙市 (大仙市スポーツツーリズムコミッション)		
19	館山市		
20	千歳市		
21	千葉市		
22	鳥取県		
23	豊岡市		
24	豊田市		
25	長野県		
26	成田市		
27	新潟県		
28	蕨崎市		
29	浜松市		
30	姫路市		
31	三重県		
32	三島市		
33	水戸市		
34	盛岡広域スポーツコミッション		
35	矢板市		
36	山梨県		
37	由利本荘市 (由利本荘市スポーツ・ヘルスコミッション)		
38	横浜市		

2022 年 3 月現在

法人会員・スポーツ団体・公益法人・自治体のみ掲載

